

# 漁況情報 No.3

平成20年6月6日発行

岩手県水産技術センター 漁業資源部

Tel : 0193-26-7915、Fax : 0193-26-7920、E-mail : [CE0012@pref.iwate.jp](mailto:CE0012@pref.iwate.jp)

\*本報は<http://www.pref.iwate.jp/~hp5507/>に掲載しております。

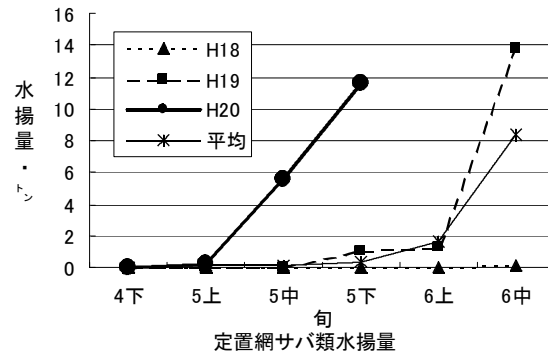
## 《 5月下旬のトピックス 》

サバ類(定置網)水揚げが好調です。

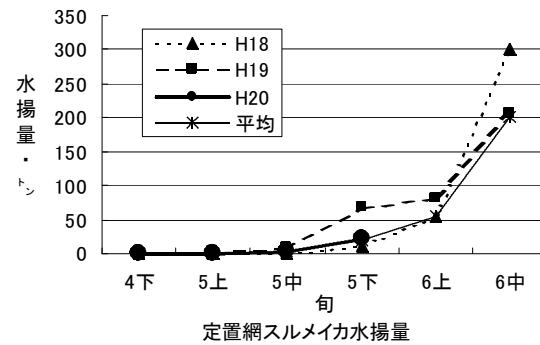
スルメイカ(定置網)の水揚げは平年並みに伸びてきました。

### 1. 水揚げ状況

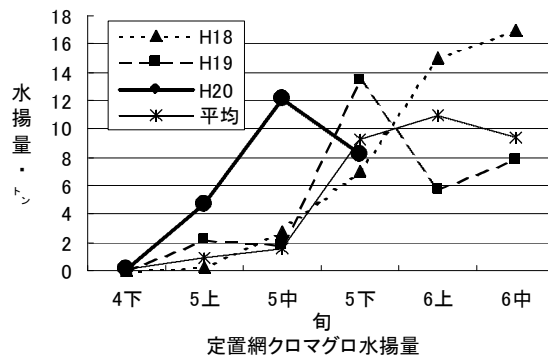
(1)サバ類(定置網)は宮古を中心に水揚げがあり、5月下旬(5/21~31)の水揚げ量は11.6トン(前年同期の10.7倍)でした。また、過去5年間の5月下旬平均水揚げ量は0.4トンで、旬水揚げはその30.5倍でした。年累計は17.4トン(前年同期の3.1倍)です。



(2)スルメイカ(定置網)は大船渡を中心に水揚げがあり、5月下旬の水揚げ量は21.6トン(前年同期の31.8%)でした。また、過去5年間の5月下旬平均水揚げ量は20.0トンで、旬水揚げはその1.1倍でした。年累計は24.1トン(前年同期の31.5%)です。

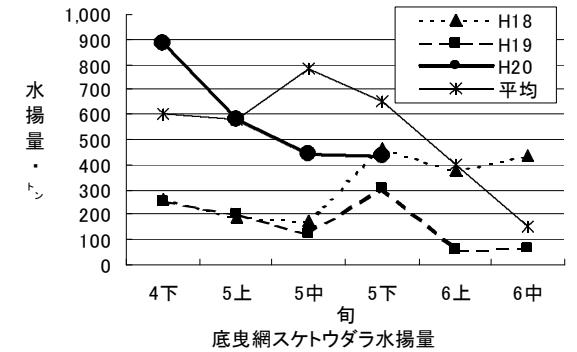


(3)クロマグロ(底置網)は大船渡を中心に水揚げがあり、5月下旬の水揚げ量は8.2トン(前年同期の60.7%)でした。また、過去5年間の5月下旬平均水揚げ量は9.3トンで、旬水揚げはその8.6%でした。年累計は25.2トン(前年同期の1.4倍)です。



(4)スケトウダラ(底びき網)は宮古を中心に水揚げがあり、5月下旬の水揚げ量は436.8トン(前年同期の1.4倍)でした。また、過去5年間の5月下旬平均水揚げ量は650.6トンで、旬水揚げはその67.1%でした。年累計は5,055.9トン(前年同期の1.8倍)です。

\*水揚げ状況は主要6港(久慈、宮古、山田、大槌、釜石、大船渡)の集計による。



### 2. その他の情報

#### ◎サワラ精密測定結果

5月下旬に水揚げされたサワラ(久慈魚市場、定置網)の精密測定を行いました。雌雄の割合はほぼ同じで、尾叉長は47cmと49cmにモードがありました。また、平均GSI(生殖腺指数)は3.7で、成熟個体は42%でした。

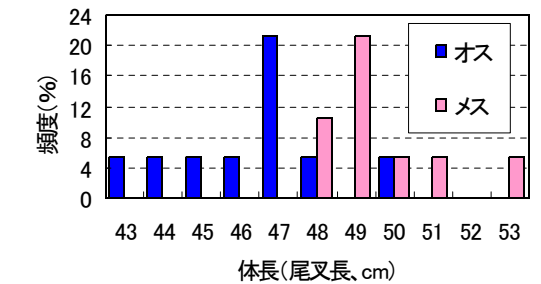


図1 サワラ尾叉長組成(定置網、久慈魚市場)

#### ◎キタミズクラゲが本県全域に分布

3月から県南部沿岸域で大量に確認されてきた「キタミズクラゲ」は、現在では沿岸全域の定置網で断続的な大量入網が続いています。また、活力の低下したクラゲは海底に沈んでカゴや刺網の操業にも影響を及ぼしています。しだいにクラゲの分布量は減少に向かうとみられますが、定置網や沿岸漁業への影響は断続的に続くと考えられますので、ご注意ください。

被害情報等をお持ちの方は当センター、または最寄りの振興局水産部までお知らせ下さい。

\*キタミズクラゲ:傘径が20cm位の小型のクラゲで、傘縁辺における赤褐色の縁取りが特徴

### 3. 調査船運航計画(6月)

	調査内容	調査期間
岩手丸	定線海洋観測調査	6/9~11、6/30~
	表層トロール調査	6/5、/23~27
	イカ類漁場一斉調査(1次)	6/16~20
北上丸	タコ類カゴ、アイナメ延縄調査	6/2~4、/16~17、30
	サケ稚魚敷網調査	6/12~13、
	仔稚魚・動物プランクトン調査/沿岸海洋観測	6/9~11、/23~24
	イカ漁場調査	6/19~20、/25~27